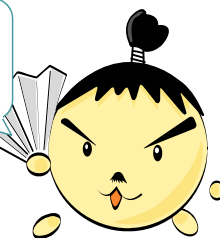


# 東工大で利用できる 電子ジャーナル・電子ブック

ここに載っている以外にも、たくさんのジャーナル、ブック、データベースが利用できるんじゃ！

しらべんない  
調辺 源内

LiDance(Library Guidance)キャラクター




## ■ 電子ジャーナル

電子ジャーナルサービス	提供出版者・学会	利用可能な範囲	備考
ACS Web Editions	American Chemical Society	創刊号から	ACS発行の全ての雑誌が利用可能です。
AIP Scitation	The American Institute of Physics	1930年以降	AIP発行の雑誌、会議録が利用可能です。
APS	American Physical Society	創刊号から	APS発行の全ての雑誌が利用可能です。
ASME	American Society of Mechanical Engineers	1960年以降	ASME発行の全ての雑誌、会議録が利用可能です。
CiNii Articles	NII (国立情報学研究所)	雑誌により異なります	CiNii Articles収録の国内学協会刊行物（「定額アクセス可能」刊行物を含む）および大学研究紀要が利用可能です。
IEL Online	Institute of Electrical and Electronics Engineers	1988年以降	IEEEおよびIETが1988年以降に発行した全ての雑誌、会議録、IEEE規格が利用可能です。
IOPscience	Institute of Physics	創刊号から	IOP発行のほぼ全ての雑誌について利用可能です。
JSTOR	JSTOR	創刊号から	以下のコレクションが利用可能です。 最新の1-5年分は収録されていません。 ・ Arts & Sciences I-IV, VI-VII (人文社会系) ・ Business I-II (経済、経営、マーケティング分野) ・ Life Sciences ・ Mathematics & Statistics
Nature	Nature Publishing	Natureは創刊号から	Nature本誌とその他姉妹誌、21タイトルが利用可能です。
Proc. IMechE	Institution of Mechanical Engineers / SAGE Publications	創刊号から	IMechEの全ての論文集が利用可能です。
RSC Journal	Royal Society of Chemistry	1841年以降	RSC発行の全ての雑誌が利用可能です。
Science	AAAS	創刊号から	創刊号から利用可能です。
ScienceDirect	Elsevier	創刊号から	ほとんど全ての雑誌が創刊号から利用可能です。
SpringerLINK	Springer	創刊号から	ほとんど全ての雑誌が創刊号から利用可能です。
Wiley Online Library	John Wiley & Sons	1997年以降	ほとんど全ての雑誌が利用可能です。

## ■ 電子ブック

電子ブックサービス	提供出版者	利用可能な範囲	利用可能なタイトル
		1973年以降	"Lecture Notes in Computer Science"
SpringerLINK	Springer	2005年以降	情報科学分野の電子ブック
		2011年～2013年※1	化学・物質、物理学・天文学、数学・統計学分野の電子ブック

## ■ アクセス方法

東京工業大学附属図書館Webサイト (<http://www.libra.titech.ac.jp/>) 内の「電子ジャーナル・電子ブックリスト」からアクセス、または、東工大OPACの検索結果に表示される  をクリックしてください。

東工大のネットワーク内から利用できます※2。ご質問等は「Askサービス」※3にお問い合わせください。

※1 化学・物質、数学・統計学分野は2014年発行分も利用可能です。

※2 SSL-VPN経由でも利用可能です。(詳細：<http://portal.titech.ac.jp/ezguide/sslvpn-journal.html>)

※3 附属図書館Webサイト > お問い合わせ・お申し込み > Webフォームでの問い合わせ(Askサービス)

# 電子ジャーナル 電子ブック・データベースは 正しく利用しましょう！

データベースや電子ジャーナルを利用する際は、著作権法や提供元の利用規約・利用条件等を厳守し、適正な利用を行う必要があります。

利用規約等に違反する利用がなされた場合、**一個人の違反行為であったとしても、大学全体に対して利用停止等のペナルティが科せられ**、本学の学術研究・教育活動に重大な損失を与える可能性があります。

## 個人利用の範囲を超えた大量のデータをダウンロードすることは禁止されています

- ・ 機械的にダウンロードすることは契約違反です。
- ・ 手動であっても、長時間にわたりダウンロードを繰り返すような利用は、機械的とみなされる場合があります。

提供元は、不正な利用が行なわれていないかを常に監視しています。意図的な行為でなくとも、提供元が適正ではないと判断した場合には、アクセスを遮断する等の措置がとられます。実際、過去に本学の教員・学生が大量の文献をダウンロードしたため、提供元から本学全体の利用が停止されたことが何度もありました。

## 大量ダウンロードの他、以下のことも禁止されています。

- ・ 個人の学術研究および教育以外の目的で使用する
- ・ 複製や第三者に再配布すること
- ・ その他著作権法に違反すること

電子ジャーナルの適切な利用について、詳しくは下記のページをご参照ください。

<http://www.libra.titech.ac.jp/online/notice.html> ※右のQRコードからもアクセスできます

お問い合わせ先

附属図書館Webサイト > お問い合わせ・お申し込み > Webフォームでの問い合わせ(Askサービス)

